

“日本発の医薬品創出へ向けた支援活動 － アカデミアおよびPMDAの試み”

(独) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA)

矢守 隆夫

わが国のアカデミアにおけるがん研究の水準は世界でもトップレベルにある。しかしながら、アカデミア研究の成果が日本発の抗がん剤の創出に結実した成功例はむしろまれである。これは極めて残念なことであるが、その主な理由としては、創薬シーズを見出し医薬品へ育てるシステムがアカデミアにおいて確立されていないこと、あるいは産学連携が思うように機能していないことなどが上げられる。本講演では、これらの課題に対する取り組みを紹介したい。まず創薬パイプラインの上流に関して、アカデミアからの創薬をねらった積極的な取り組みを提示する。それは、私どもが長年にわたり取り組んできた文科省科研費によるアカデミア版抗がん剤探索プロジェクトであり、ここではその概要と成果を紹介する。一方、創薬パイプラインの出口にあたる新薬承認申請の審査を行う医薬品医療機器総合機構 (PMDA) においてもわが国からの新薬創出の支援を目的とする新しい動きがある。具体的には、科学委員会、薬事戦略相談、人材交流プロジェクトなど PMDA の新たな取り組みが始まっており、これらについても紹介する。医療イノベーションの実現には、産と学さらに官が連携して日本発の医薬品を創出することが肝要であり、それがわが国の活性化にもつながると期待される。

履歴書

氏名： 矢守 隆夫

現職： 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 審査センター長

学歴：

昭和51年3月 東京大学薬学部卒業

昭和53年3月 東京大学大学院 薬学系研究科修士課程 修了

学位： 薬学博士

職歴：

昭和53年4月 (財)癌研究会癌化学療法センター基礎研究部 研究助手

昭和60年6月 University of Texas, M.D. Anderson Cancer Center,
Project Investigator

昭和62年7月 (財)癌研究会癌化学療法センター基礎研究部 研究員

平成5年9月 同 主任研究員

平成7年10月 同 副部長

平成12年1月 (財)癌研究会癌化学療法センター分子薬理部 部長

平成21年12月 (財)癌研究会癌化学療法センター 所長補佐(兼務)

平成24年5月 (公財)がん研究会がん化学療法センター 副所長(兼務)

平成24年6月 (独)医薬品医療機器総合機構 審査センター長

現在に至る